



くらしのうつりかわり展

くむかしの道具にみるく



R2.12.26 (土) → R3.2.28 (日)

入場無料

9:00~17:00 (月曜、12/29~1/4、1/12、2/11、2/23休館)

小城市立歴史資料館企画展示室(桜城館2階)

なにに使われた
ものでしょう?

※お問合せ先
小城市立歴史資料館
〒845-0001
佐賀県小城市小城町158-4
TEL0952.71.1132
e-mail : bunka@city.ogi.lg.jp



こたえは
展示室で!!

令和2年度 暮らしのうつりかわり展 展示資料目録

	名称	用途	所蔵
1	かき氷機 <small>こおりき</small>	ハンドルをまわし氷を削りました	館蔵
2	エベレストジャー	食べ物の温度を保つために使いました	館蔵
3	はがま 羽釜	お米を炊きます	館蔵
4	めしびつ	炊かれたお米を入れます	館蔵
5	めしびつ入れ	めしびつを入れ保温します	館蔵
6	力武商店チラシ	商品の広告チラシ。羽釜が紹介されています	館蔵
7	めしかご	風通しがいいところに置いてご飯の温度を冷まします	館蔵
8	唐箕	ハンドルを回して、中で風をおこして、軽いもみやごみ類を飛ばし、重いもみだけを下に落とします	館蔵
9	しょうけ	野菜や米を洗ったり、干したりするのに使います	館蔵
10	一斗ます	米や水などの量をはかるためにつかいます。	館蔵
11	すり切り棒	お米などを入れて、1斗分をはかるときに使います。	館蔵
12	はかり	台車の部分に、はかりたいものをのせ分銅を使ってつりあわせて重さをはかります	館蔵
13	さおばかり 竿秤	分銅を使用し物の重さ（質量）を量ります	館蔵
14	ます・一斗ます <small>いっとうます</small>	物の量（かさ）を量ります	館蔵
15	ぜにます 銭枱	金銭を数えるためにつかいます	館蔵
16	そろばん	現在のもものと珠の数が異なります	個人蔵
17	きかいしきたくじょうけい 機械式卓上計算機	昭和20～40年代頃の計算機です	館蔵
18	はかり	皿の部分に、はかりたいものをのせ分銅を使ってつりあわせて重さをはかります	館蔵
19	たらい	水を張り、洗濯板とともに使用しました	個人蔵
20	せんたくいた 洗濯板	板の上で洗濯物をもんだり、たたいたりして洗いました	館蔵
21	湯たんぼ（陶器製／金属製）	熱湯を入れ布で包み温まります	館蔵／個人蔵
22	ひぼこ 火箱(あんか)	炭を入れて布団の足元で使います	館蔵
23	置きごたつ（やぐらご）	やぐらの中の容器に炭を入れて使います	館蔵
24	アイロン	電気の熱でシワをのばします	館蔵
25	もくたん 木炭アイロン	炭を入れて使用しました	館蔵
26	こて	のしわをのぼしたり、折り目をつけるのに使います。火鉢などで温めて使います。	館蔵
27	ひぼち 火鉢	炭を入れて一人用として使います	館蔵
28	ちくおんき 蓄音機・レコード盤	溝を刻んだレコードに針を当て、振動を音として発します	館蔵
29	がくしゅう 学習ノート	昭和30年代頃のノートです	館蔵
30	文房具	小学生たちが使ったえんぴつや消しゴムです	館蔵
31	じどうようざっし 児童用雑誌	昭和30年代の小学生向けの雑誌です	個人蔵
32	置きランプ	灯油式のランプ	館蔵
33	べんきょうづくえ 勉強机		館蔵
34	きょうかしょ 教科書	明治時代～戦前の教科書です	館蔵
35	卒業証書	昭和7(1932)年の桜岡尋常高等小学校(現在の桜岡小学校)の卒業証書です	個人蔵
36	賞状	昭和7(1932)年の寒稽古の皆勤賞の賞状です	個人蔵
37	ハンドル式電話機 <small>しきでんわき</small>	右側の取っ手を回し電話をかけました	館蔵
38	しきでんわき ダイヤル式電話機	ダイヤルを回し電話をかけました	個人蔵
39	はしらどけい 柱時計	大正14年（1925）修理銘が残ります	館蔵